

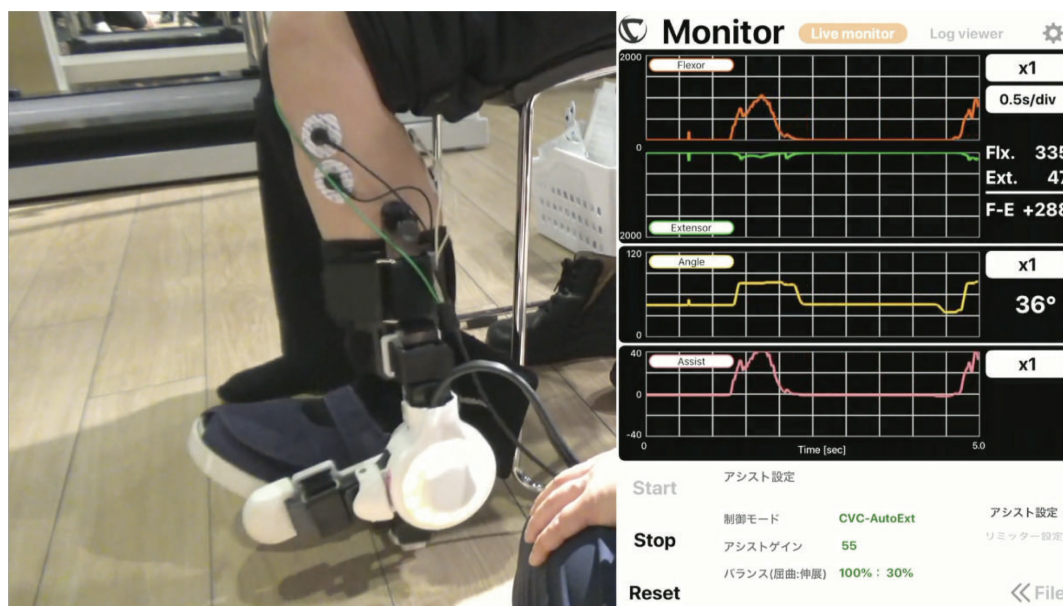
2020年2月10日

各 位

会 社 名 CYBERDYNE株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 山海 嘉之  
(コード番号 7779 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取締役コーポレート 宇賀 伸二  
部 門 責 任 者  
(電話 029-869-9981)

## 足関節（足首）の随意運動と歩容改善を促す新サービスの提供を開始 ～ 全国 14 か所のロボケアセンターで、Neuro HALFIT®のサービスに追加 ～

CYBERDYNE 株式会社(茨城県つくば市、代表取締役社長:山海嘉之)は2019年7月に販売開始した「HAL® 自立支援用単関節タイプ 足関節アタッチメント」を、全ロボケアセンターに配置いたしましたので、お知らせします。これにより、かねてより要望の多かった足関節(足首の関節)の歩容改善を促すサービスが全てのロボケアセンターのNeuro HALFIT®を通じて提供できるようになります。



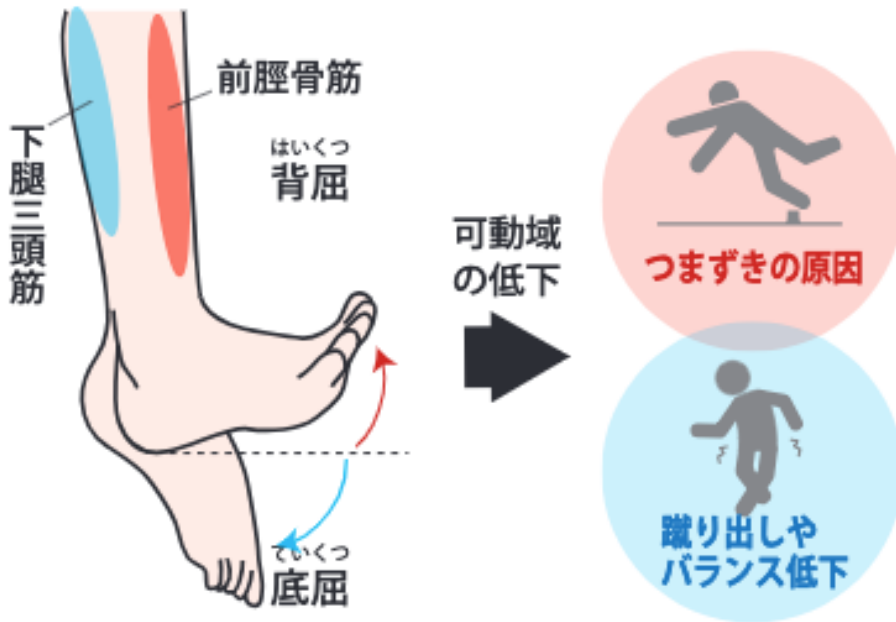
HAL®単関節タイプ 足関節アタッチメントを装着し、前脛骨筋と下腿三頭筋を動かした時の波形

### ■ 背景

脳卒中の後遺症(痙縮)や筋力低下などによって歩行中につま先を十分にあげること(背屈)ができなければ、つま先が地面に引っかかり転倒するリスクが高まります。また、つま先で地面を蹴り出す動作(底屈)が不十分な場合、歩行速度が制限されるなど、日常生活の中の動きにも影響が出てきます。そのため、足関節の底屈・背屈動作を円滑にする随意運動を効果的に行うための製品として、当社は HAL®単関節タイプ 足関節アタッチメントを開発し、2019年7月に販売開始し、一部のロボケアセンターにおいて脳神経・筋系の機能改善を促すための新しいプログラムである Neuro HALFIT®のサービスの一つとして取り入れてまいりました。その結

果、幅広いニーズを持ったご利用者様に対し有効なサービスが確立され、現在 14 か所にある全てのロボケアセンターに HAL®単関節タイプ 足関節アタッチメントを導入することになりました。

### 足関節の背屈と底屈



足首の可動域の低下は、つまずきの原因や蹴り出し、バランスの低下などにつながります

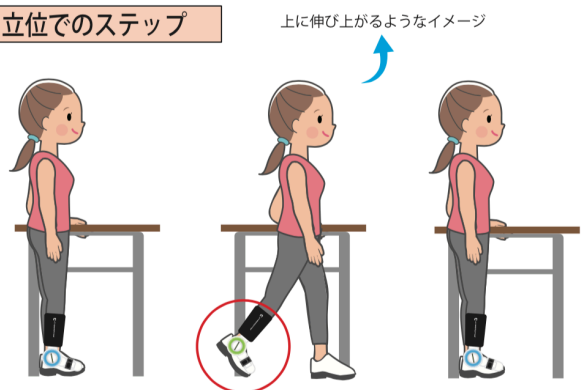
### ■ 特徴

従来の Neuro HALFIT®では、HAL®下肢タイプや HAL®腰タイプを使った運動メニューに加え、HAL®自立支援用単関節タイプを用いた肘や膝の曲げ伸ばし運動などを利用者様の状況に応じて提供しておりました。足関節アタッチメントの導入により、足関節の底屈・背屈動作を円滑にする随意運動を効果的に行うことができるようになり、加齢により筋力が低下した方、足のとまづきや転倒が気になり出した方、フレイル予防・介護予防など幅広いニーズを持ったご利用者様に対し、さらに柔軟なサービスの提案ができるようになります。

#### 座位での足関節運動



#### 立位でのステップ



従来のリハビリでは難しいとされていた部位の随意運動を効果的に行います



## ■ 今後の展望

当社は、引き続きお客様と一緒に課題解決に取り組むことを大切にし、今後もお客様のニーズを反映した製品の機能拡張や、サービスの拡張を進めてまいります。現在ロボケアセンターには障がいを持つ方から、フレイル予防に取り組む方、アスリートとしてパフォーマンス向上に取り組む方などから数多く問い合わせを頂戴しておりますが、装着型サイボーグHAL®をはじめとする最先端のヘルスケア技術を駆使し、ご利用者様一人一人に合わせ、今まで以上に皆様の目標達成をお手伝いするための活動を続けてまいります。

## ■ CYBERDYNE株式会社 会社概要

URL	<a href="https://www.cyberdyne.jp">https://www.cyberdyne.jp</a>
設立	2004年6月
資本金	267億78百万円 (2019年3月31日現在：日本基準単体)
代表者	代表取締役社長 山海嘉之
所在地	茨城県つくば市学園南二丁目2番地1

当社グループでは、人とテクノロジーが共生し相互に支え合うテクノ・ピアサポートを軸とした未来社会「Society5.0/5.1」の実現、社会変革・産業変革の実現を目指し、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を扱う「サイバニクス技術」（人・ロボット・情報系の融合複合技術）を駆使して、「ロボット産業」「IT産業」に続く「サイバニクス産業」の創出を推進しています。

当社の先端技術の独自性と優位性は、医療、福祉、生活・職場、生産の分野において、IoH/IoT化（ヒトとモノのインターネット）、ロボット化、AI化されたHALに代表されるサイバニクスシステムをプラットフォーム化し、脳神経系・生理系から行動・生活系に至る様々なビッグデータをクラウドやパソコンとつなぎ、『人』+『サイバー・フィジカル空間』を融合していく点にあります。当社のデバイスやインターフェースで得られた全てのIoH/IoTビッグデータ(脳神経系、生理系、身体系、行動系、生活系、環境系)の集積・解析・AI処理等を実現してまいります。『サイバニクス産業』の創出を加速させるため、様々な事業連携も同時並行で進めます。

### 【本件に関するお問い合わせ先】

CYBERDYNE株式会社 広報・IR 担当  
TEL: 029-869-9981

以 上